



8月15日の敗戦記念日に治安維持法国家賠償要求同盟全国統一行動が行われ「戦争する国づくりは許さない、憲法9条を生かして命とくらしを守ろう」と訴えました。都本部は都内7か所で宣伝行動・集会を開きました。池袋駅西口では、中央本部と都本部の役員はじめ地元や近隣支部から16人が参加しました。(関連記事7面参照)

不屈

東京都本部
「不屈」No.603

付録

東京版No.504

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034

東京都文京区湯島2-7-8

芳音お茶の水ビル1F

電話03(6240)0283

FAX 03(6240)0284

振替 00100-5-99628

急迫する総選挙で自公政権に代わる救民・救国の市民と野党の共同を

「いのち最優先の政治」実現のために力つくそう

副会長 風間 秀子

ごく最近の映画上映会での事。「本当に実話なんですか?」「こんなにまじめに考えて政治をする人がいたのか!!」「いまこそこういう人にやってほしい」「もう一度上映して! みんなに声をかけたいの」「泣けて泣けて、俄かに立てん」と泣いていた高齢の男性。老人医療費無料化の先駆けとなり今もその精神が生きている岩手県の旧沢内村の話である。

1950年代、沢内村は秋田との県境にあり、冬は豪雪で、おいそれとは行き来ができない無医村だった。村民は貧しく、具合が悪くても医療を受けられず、亡くなつてから看取りに初めて医者に診てもらったのが多かった。ここで推されて村長になった深沢氏は「命に格差があつてはならない」との強い信念で1960年(昭和35)、65歳以上の医療費を無料にした。この話が映像になつて「命の山河」である。

無料化は国や県から「国民健康保険法違反」と指摘された。が彼はひるむことなく「国の法律には触れるかもしれないが、憲法25条

『すべて国民は健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有する』と書いてありこれには触れない」と跳ね返し、ついに村議会で議決ができた。この場面を食い入るように見ていた人々の声だ。

それが今はどうだ、政権党である自民党は政党助成金もたんまり手にしながら使い道も定かにせず、さらに裏金を作り、多分、票を買ったのか、はたまた実績のない秘書の報酬を着服するなど、普通世間では通用しないことがまかり通つてきた。こんなことが明るみに出てきているのだ。どんな看板に変わろうとも、もう自民党政権を許すわけにはいかない。軍事より先に、災害対策、原発廃炉、地球温暖化対策、米不足、子どもの貧困等々、まずは憲法を活かし、未来に希望が持てる日本に、命がけで戦争を終わらせる外交をする政府に変えていこう。

新しい戦前にしない決意を込めて、来るべき総選挙で自民党を政権の座から追い落とすために、全力をつくそう。

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する。

二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。

三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

第47回都本部大会方針実践

9月から全支部の同盟活動の前進を

8月26日 第1回理事会

大会決定にもとづき、学習を基礎に請願署名、会員拡大で前進を勝ち取りましょう。本紙に大会発言特集を掲載。困難を克服した取り組みはじめ、映画上映、学習会などを支部役員会で議論企画し、「しんぶん赤旗」にも折り込んで広く知らせ、会員拡大をした経験、また、暑気払い交流会や忘年会などユニークな取り組みで会員増を進めた経験が語られています、これらの経験から学び、治安維持法施行100年の記念行事成功へ全支部で挑戦しましょう。題せず、裏金と統一教会と

1 支部活動の改善について

支部役員会で、学習会、ビデオを見る会などを計画し、広く呼びかけ、会員参加と会員増を図りましょう。

2 会員拡大

現勢調査で70人の後退。来年の第48回大会までに回復し、1400人会員を達成しましょう。

3 国会請願署名

9月から団体要請訪問を始め、全会員10筆運動に出席早く取り組みましょう。

4 会費納入について

会費納入は、現在34%。今年度も6か月が経ちました。9月末で納入率50%以上を達成しましょう。9月中に、会費未納者に年末募金を含め、請求書を出しましょう。

治安維持法施行100年の取り組み 100年集会(案)

◆規模 文京区シビック小ホール 350人

◆13時開場

理事会で学習テキストを学習

は何か』を使い、8月から3回に分けて学習を始めました。久しぶりに治安維持法を学習し、改めて確信が深まり、初心に返りました。支部でも学習会を開催し、全会員へ普及しましょう。

治安維持法とは何か

-戦争をする国にしないために-

学習テキスト



治安維持法施行100年記念集会案

2024年6月

13時半開会〜16時半(3時間)
菱谷良一さんを語る80分

講師 川嶋 均(東京芸大講師)
菱谷さんビデオメッセージ

30分の催し物

女性講談師

(講談「多喜二の母」の演者)

■女性部も100周年の取り組みを。

■各支部でも顕彰活動を位置づける。

都本部の活動日誌



荒川支部南千住スタンディング

8月2〜4日 新宿戦争展(7頁参照)

8月8日 三役会議

8月15日 終戦記念日宣言

8月20日 多喜二祭実行委員会

8月21日 臨時三役

8月26日 理事会

8月28日 八王子支部市川正一顕彰相談役員会

8月31日 東京母親実行委員会

三役会議

9月9日(月) 13時半

会場 文京区男女平等センター

理事会

9月20日(金) 13時半

会場 文京区男女平等センター

幾山河

ピースボート第117回クルーズでは、被爆者2人と若者を含む折り鶴プロジェクトが18の寄港地で大活躍をしてきた▼折り鶴プロジェクトは、被爆の実相を話し、日本国憲法9条を支持する世界の声を集め「武力によらない平和を世界へ広げる」ための国際イベントとして、9条文を日本語、中国語、韓国語、英語、スペイン語、それぞれで表したプレートと平和団体や、政府機関にプレゼントするイベントである。NHKでもニュースで取り上げていた▼このプレートを今回のクルーズ参加者に一枚プレゼントするというオークションがあった。競り勝って手にすることが出来た▼さて、どこに送ろうか? 思案のしどころである。区の公園の目立つところに貼ってもらおうか? 有名な神社に持ちこみ観光客の見えるところに貼り出してもらおうか? それとも地元中学校の生徒会へ贈りたいと持ち込んでみようか? ▼中学生に討論してもらおうのは意義があるかもしれない。さあ、わが社の皆さんも意見をお寄せください。(秀)

第47回都本部大会発言要旨

治安維持法公布100年

記念行事の成功を

川島 均 (東星大学講師)

来年の治安維持法公布100年集会のメイン企画「菱谷良一さんから学ぶ」を担当します。講演会では、最新の調査結果も盛り込み、実際に色々な絵画作品も見てもらいながら、事件のことをお話します。

私が進めている菱谷さんらの生活図画事件の調査活動でも、ここ何年か成果を積み重ねてきました。生活図画事件の検挙者数は、官憲側の資料では26人ですが、軍隊内で捕まり、警察資料にはない人もいます。また、

綴り方で捕まった作文教育の先生たちで、美術部OBの生物図画の関係でも厳しく取り調べを受けた人もいます。その数も含めると、図画事件の被害者は30人くらいと

思われます。

私が調べ始めた6年前は最年少だった菱谷さんと同級生の松本五郎さんのお二人が健在で唯一の生存者でした。当時、私は「いまから取り組んで、新たに明らかにできることが残っているのか」と非常に心細い思いでした。大学の仕事の合間をぬい、全国どこにでも自分の足で出かけて行く思いで、活動してきました。

その結果、パッと視界が開ける思いがけない体験をしたことも何度かあります。今では、事件の全体像に迫っていると思っています。

昨年12月に「治安維持法の時代を考える」と題した展示と講演のイベントを練馬区江古田にある小さなギャラリーで6日間開催しました。生活図画事件では、旭川師範学校美術教師の熊田満佐吾先生や菱谷良一、松本五郎さんの作品原画や様々な資料の展示、失われた作品については、写真の記録などから再現・複製したパネルやポスターも展示、小規模とはいえ、事件を本格的に伝える展示はこれまでに例のないものでした。

この展示を見て情報を寄せられた方があり、今年1月、埼玉県内のあるお宅で、高名な教育学者の作品調査に携わりました。もしかと思いが、北海道の生活図画や生活綴り方運動に関係する子どもの文章が多

数見つかり、非常に驚きました。このような資料がまだ出てくるので、大変驚いたわけです。

これらの児童画の発見は、非常に貴重なものです。その指導をされた先生は、綴り方事件で検挙されました。そのご遺族が大阪で見つかりました。指導者だった熊田満佐吾さんの東京美術学校時代に、お互いに影響を受け合った方達の一人が東京で、もう一人が新潟で非常に豊かな生活図画教育を実践されていたことが分かってきました。ぜひご期待ください。

財政再建と100人の同盟を

練馬支部長 矢沢 重光

私の体験を話し、討論に参加します。私は財政口座の名義変更に絞ります。報告します。練馬支部の会計担当のSさんが倒れ、救急車で入院。退院後は、特養ホームに入所されました。それで、支部の日常のお金の出し入れがストップし、困りました。

私は役員会で相談して、会計担当となり、家族の方に連絡を取り、通帳、カード、出納帳、印鑑、現金など、会計関係書類一切を事務局で確保し、必要な現金の出し入れができるようになりました。

次の問題は、振替口座登録郵便局の変更と名義人の変更でした。名義

人の変更手続には、大会議事録、収支報告書、監査報告書、支部の規約、役員名簿とその住所が必要でした。急遽、今年の4月初めの役員会で検討し、練馬支部第20回大会を5月31日に開催しました。

いままで、ないがしろにしていた支部の規約の見直しなど、都本部が作成した「支部活動の手引き」を活用して乗り切ることができました。大変助かりました。規約の見直しなど、組織整備をし、名義変更書類を全部揃えて作成し、受理されました。この間、4か月かかりました。

今後、支部財政を確保するために、メールに切り替えていきたいと考えています。教訓は、財政なくして運動なしということだと思っています。財政再建はスタートしましたが、練馬支部の23年度の会費納入率は70%台です。今後、とりわけ会費未納者には、郵便振替の会員が多いので、電話など声の訪問も進めて、みんなを取り組んでいきたいと思っています。

会員拡大は一進一退の状況です。入院しておられたり、亡くなっていることもありすが、100名という目標を立てて、もう何年かになります。100名を達成して、戦争をする国づくりを許さない、同盟建設をこれから進めていきたいと決意しています。よろしく願います。

東京都本部第47回大会

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟



川島 均さん

綴り方で捕

まった作文

教育の先生

たちで、美

術部OBの

生物図画の

関係でも厳

しく取り調

べを受けた

人もいます

で、その数

も含めると

図画事件の

被害者は30

人くらいと

支部での運動継承を確実に

東村山支部事務局長 高橋博

国賠同盟に3年前入会しました。皆さんから学び、何とか活動を進めてきました。私は三つに分けて、発言します。

まず、午前中の特別講演「岸田軍拡と『経済秘密保護法』」は、難しい話をわかりやすく話をしていただきました。私が述べるまでもなく、立憲主義の破壊によって進めてきたのは紛れもなく「戦争する国づくり」です。日本がアメリカと一緒にあって、いつでも海外で戦争ができる、法的整理が完了したと言っても過言ではない。「再び戦争と暗黒政治を許さない」この旗を高く掲げて闘う治安維持法国賠同盟の出番の情勢です。戦争する国づくりを阻止する確かな力になるのではないのでしょうか。

次に東村山支部は、昨年12月9日に日本共産党と共催した「治安維持法と戦争」に、60人が参加し、平和を守るための重要性を確認しました。参加者から貴重な話を聞かせてもらいました。「この歴史的な話を多くの人に広げてください」と意見ができました。この集会の記録のパンフレットを作り、普及しました。市民に見える運動をつくり仲間を増やしていきたい。

最後に岡崎路辺前支部長の逝去

を悼み、実行委員会で12月に偲ぶ会を開きます。岡崎さんの父・母は、ともに治安維持法の犠牲者です。岡崎路辺さんは私に何回も話してくれました。子供のとき「アカだ、アカだ」と囁きたてられました。しかし「恥ずかしい思いをすることなく、むしろ戦争に反対して正しいことをしてたと、子供心に本当に誇りに思っていた」と。

東村山支部が結成できたのは、岡崎さんの指導と地道な活動があったからだと思っています。私は岡崎さんと同じマンションに住んでいて、岡崎さんからは熱い説得を再三受けています。入会1年前から、お手伝いも含めてこの活動に参加しました。娘さんの同朋参加に「うちのお姉ちゃん頑張っているでしょう」と私に本当に嬉しそうに話をしてくれました。私たちはしっかりと学習を重ね岡崎さんの遺志をついで運動を前進させたいと思います。

9・27中島辰猪記念行事の成功を

足立支部事務局長 濱谷 正支

「今日の大会までに、各支部1名拡大を」と呼び掛けられ、学生オルガナイザーを迎え入れました。27歳の若者です。私が住む地域には大学が3つあります。民青同盟の委員長が挨拶で、民青の地区委員会が再建

されて5年になり、わが地域でも春には毎月2桁の民青同盟員が増えています。食糧支援などがあると、大学近くまで行き、若い人たちを援助して仲良くなるようにしています。

9月5日午後、亀戸事件追悼会が江東区で開かれ、吉田会長と中嶋事務局長はじめ、各地から88人が参加しました。

亀戸事件101周年追悼の辞

治安維持法国賠同盟

会長 吉田 万三

亀戸事件101周年追悼会にあたり、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟を代表して追悼の辞を捧げます。

関東大震災が発災した9月1日を前後して、震災関連の報道も数多く目にするようになりました。また、震災に続き起きた流言飛語による朝鮮人・中国人虐殺についても、小池東京都知事が追悼文

送付を今年も拒否した二ニュースととも

多くの人々に徐々になつてきています。本年8月30日の朝日新聞朝刊では「朝鮮人虐殺・史実の黙殺」と題して「政府がやるべきなのは、事実を認

彼を拠点にして、若い人たちの連携を増したいと思っています。足立支部は、これまで「わが青春つきたるも伊藤千代子の生涯」上映会を2次まで行い、400人が鑑

め、流言飛語による殺傷がなせ起きたのか、を調べ、朝鮮人を含む外国人犠牲者の実態を明らかにすることだ」としています。とりわけ重要なことは、こうした事態・事件が一般庶民の流言飛語の中でのことではなく、権力が関与し、扇動した中で起こったことです。亀戸事件は、その言い逃れできない事実を示しています。当時の警官や軍隊が、被災者救援にあたっていた労働運動や社会主義運動の活動家を直接亀戸警察に連行し、その後虐殺したのですから。明らかに権力犯罪であり、自然災害やそれに付随した人災でもありません。アジアへの進出を企図し戦争国家への道を進めた当時の権力・天皇制政府にとっては、大災害に際して国民の命を守ることよりも、みずからの体制の維持とさまざまな運動への弾圧が優先事項だったのです。

現在、日本はアメリカとの同盟という名のもとに、大軍拡を進め、再び戦争する国への道を歩み始めています。私たちは亀戸事件の犠牲者を心から追悼するとともに、「新しい戦前を許さない」多くの反戦・平和を願う人々と連帯し、たたかう決意を表明して、追悼の言葉といたします。

- 4 -

賞。今年度は6人の区議地域毎に、身近なところで上映会を開き、より多くの人に見てもらえる機会を増やしていきたいと考えています。

また「中島辰猪生誕120年記念集会」を葛飾・足立区の民医連・救援会・国賠同盟が実行委員会をつくり、9月27日に準備しています。午前中は法要を、午後は、藤田廣登さんによる辰猪の新しく発見された資料の紹介も含めて講演「無産者医療運動に生涯をかけた中島辰猪」があります。当日は愛媛県から遺族も参加されます。また、藤田さんはこの集会を機に『「医療は万民のもの」を掲げ、志半ばで斃れた医師 中島辰猪』を上梓されます。

学び交流し、会員拡大

大田支部支部長 色部 祐

昨年の11月に大田支部を再建しました。吉田万三さんの、すごい迫力ある援助があった経過もありました。「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」のスローガンの治安維持法国賠同盟の役割は重要になっています。治安維持法の弾圧と闘った人々から学び、闘っていききたい。

もう一つは、私ごとですが、私の

父は治安維持法で逮捕されました。1933年のことです。理由は、先輩から社会科学の学習会に誘われ、社会主義の本を持っていたことです。その後、医療の道にすすみました。その時、後に衆議院議員になれる林百郎さんとも活動したそうです。私も医療の道に進みました。

大田の再建大会では「種まく人びと」を上映。吉田万三会長、民青、共産党などの来賓。山添拓参議院議員のビデオメッセージも上映。13人の会員拡大。毎月の役員会で、映画会、学習会など企画を決めてとりくんできました。この間、映画「武器なき斗い」の上映、「大田区の戦前の闘い」講演会で学んできました。これらの取り組みでも会員が24人増えました。

みなさんの活動に学び、いろいろな企画をし、治安維持法の運動を進めていきたいと思います。

学習活動の活性化で

同盟活動の理解を広げる

港支部長 小河原 洋子

22年10月30日に支部を16人で結成してから1年8か月が過ぎました。その後1人増えて17人、23年の「暑気払い」で2人増え、19人。同年11月19日の第2回総会で2人増、21人になりました。次の活動方針を決め

ました。1. 仲間を増やす。2. 小林多喜二の足跡を訪ねるフィールドワークをする。3. 伊藤千代子上映会を開催。4. 治安維持法の学習会を開く。5. なんでも話そう交流会を持つ。6. 戦争体験者から平和を学ぶ。7. 国会請願署名活動に取り組む。

今年4月に杉浦正男さんの墓参りに行きました。中嶋事務局長、港と葛飾支部の2人も参加してくれました。5月11日に多喜二の足跡を訪ねるフィールドワークを藤田廣登さんのガイドで9人が参加。多喜二がしばらく住んだ、近くの「称名寺」にプレートをつける運動も進められています。港支部としても追求していきます。6月8日には、伊藤千代子の上映会2回18人が参加しました。最近、職場交流会をして6人の参加がありました。沖縄基地問題や自衛隊がたくさん基地を造っていること、治安維持法を復活させたいのではない

いかという話も出ました。

治安維持法を知る学習会をしようとの意見が出たので、戦争体験者から平和を学ぶことも進



めます。10月には第3回総会、11月16日に忘年会を予定し、港区の治安維持法犠牲者の歴史を知ろうと準備しています。

新体制で再出発

世田谷支部事務局長 内野 明和

世田谷支部は、この半年会長のいない状態が続きましたが、支部役員会で役員体制について論議し、地区委員会にも相談し、元都議会議員のたぞえ民男さんが会長を引き受けてくださいました。

世田谷支部は10年ほど前に菅野さんが中心になって、活動を活性化させて来られたと聞いています。私は5年前に会員として参加しました。人の繋がりが増えていくことができれば、活動の継続も全く問題にならないのではないかとというのが私の印象です。

竹橋事件は、1878(明治11)

年に53名が処刑され、遺族も誰もいない、自由民権運動100年という年が1978年でした。その時に竹橋事件の研究が澤地久枝さんを中心に再開しました。私は、国賠同盟を広げるため、竹橋事件でつながりができていた友人や知人に「不屈」を届け、購読してもらっています。カンプなども届くようになり、会員も増えています。



石原支部長

中央支部、設立しました
中央支部 川村 高子
私たち「中央支部」は3月24日に
中央区立男女平等センターにて、吉
田万三都本
部会長（中
央本部、長）
に講演して
いただき、
支部結成総
会としまし
た。支部長
には92歳の
石原信夫氏
が就任しま

した。
「ここまでの道のりは、昨年5月に
藤田廣登氏に「新しい戦前を迎えて
今、中央区の皆さんと語る」のミニ
講演をしてもらい、中央区内の会員
が初めて顔を合わせました。
その後元区議会議員だった田口仲
子さん（101歳）の兄が犠牲者杉
浦正男さんであり夫の田口俊朗さん
も犠牲者だったとわかり、連絡を取
り喜び合いました。9月24日には小
松実中央本部副会長を講師に「平和
を語る集い」をしました。40名の参
加で大盛況、大いに学びました。
11月16日には「種まく人々」上映
会などを開き、これらのイベントを
通じて治安維持法がいまだに現代に
残っていることを学び、会員を増や
してきました。会の略称として「不
屈種まく人々の会」としました。
支部結成後、映画「蟹工船」の視
聴の集いもしました。今後も集いや
学習会を開催して、会員同士の元氣
の源にしていきたいと思います。

八王子治安維持法犠牲者の パンフをつくりたい

八王子支部長 清水 邦治
昨年8月15日の終戦記念日に入会
された方は「しんぶん赤旗」に折り
込んだピラを見た人で、叔父さんが
治安維持法で捕まり、大変な目に遭っ
たという犠牲者の遺族でした。
叔父さんは、東京書籍という出版
社に勤め、その職場サークルの機関
誌を作ったということで捕まって、
一昼夜取り調べを受けて、一応帰っ
てきました。しかし、帰ってきた途
端に家の障子を全部締め切って、真っ
暗な中で、わんわん泣いていたと家
族から話を聞いたとのことでした。
その後、精神に異常をきたし、家
庭での生活が困難になり、松沢病院
に入院して、戦後70代で亡くなるま
で生涯、病院で暮らしたとのことだ
した。
彼女からの申し入れがあり、昨年
12月に支部で松沢病院の記念資料館
に行ってきました。
松沢病院はものすごく広い敷地の
病院です。病院の隅に病院の明治か
らある記録の数々を収めた資料館が
あります。そこを見学しました、昔
はもう監獄同様の病院だったと思い
ますが、あの当時の様子が写真やい
ろんな展示物が並べられて紹介され
ていました。伊藤千代子も医師の診
察も受けたが亡くなりました。叔父
さんの名前は千田又人さんです。そ
の名前は見つかりませんでした。が、
尊い人がいたということ記録した
と思います。
また、八王子には反戦川柳家の犠
牲者の身内の人がいるということが

分かり、ぜひ訪問して会員にもなっ
ていただこうと思っています。
八王子支部はそうしたい思いがけな
い出会いもあり、例年市川正一の墓
前祭をここ30数年間にわたって継続
してやってきました。八王子だけで
も17、18人の犠牲者のつながりがあ
ります。それを一冊のパンフレット
にまとめたと思います。さらにそ
れぞれの人のたたかひりも紹介し
たいと思います。
質問
豊島支部 橋本 幸子
ずっと前から夫が治安維持法国賠
同盟の会員でしたが、ようやく私も
会員になりました。
今まで発言された方の意見や話を
聞いていると、皆さんの声の中には、
多喜「以来の思いが、喋っているも
何も喋らなくても、他のこと喋って
もきつとね、思いがすごく入って
んだなと感じられて、なんか胸がいっ
ぱいになっています。
私は小学校で37年間教師をしてい
ます。単純なことですが、長期借入
金がそれなりの金額で報告されてい
ます。財政の問題はすごく大事だ
と思うので、これから何年かけてどん
なふうに解決していくかという改善
案、そういう提案をぜひしてもらい
たいと思います。問題を前向きに解
決できるようなイメージを役員の方

「新宿区平和都市宣言」日本原水協作成の「ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ」被災展示、「治安維持法」のパネル。右手には、東ちづるさんの絵本原画がゆつたりと並べられ、その正面が東さん、孫崎さんの著作を中心とした書籍コーナー、サインセールに東さんとの記念撮影（ボンジュールさんも大人気）が行われました。先に進むとホール左右の入口の半円形のコーナーがあり、左手に

ピースボート・レポート②

105日間の船の旅 〜18の港で平和を語る〜

副会長 風間 秀子

コロナで4年待ち、105日の船旅をしてきました。6月号の続きです。しばらくの間お付き合い下さい。改めて地球儀に寄港地を記してみたい。中国の深圳、シンガポール、マレーシアのポートクラン。ここから



1週間インド洋の荒波にもまれて美しい島国セイシェル、ポートビクトリア。そしてアフリカ大陸へ、南アメリカのポートエリザベスとケープタウン、こ

こでちょうど一ヶ月が過ぎた。最後はアラスカのスワード、ここからアリユウシヤン列島の荒波に揺られながら10日間ついに横浜へと入港。無事に帰ってまいりました。

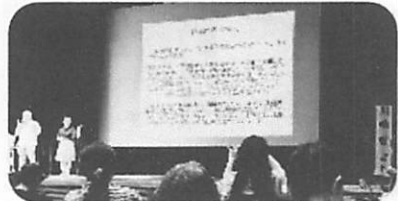
(続く)

五体の「鉄の造形とその正面に説明パネル」、右手に京都大学有志の「わたしの『やめて』の「絵本」や平和絵本、その正面に「やめて」の「気に入った一文や言葉」をこどもたち（小学低学年）が書いた量「量」ほどの色紙、そして「鶴彬」パネルが並びます。

イベントは3日◆午前「アニメ・はだしのゲン」上映。ご近所の小学生たちも見に来てくれました。◆午

砂漠の国ナミビアはウオルリスベ。ここからアフリカ大陸の西側をゆられて10日間、最も長い船上生活。アフリカの西側にあるスペイン領カナリア諸島のラスパルマス、そしてヨーロッパはポルトガルのリスボン、フランスはル・アーブル、イギリスのテイルベリー、ノルウエーのベルゲン、アイスランドのレイキヤビク、ここで2か月が終了。

いよいよアメリカはニューヨークへ、コロンビアのカルタヘナ、パナマ運河を1日かけて通過、コスタリカのプンタレナス、メキシコのマサニージョ、カナダのバンクーバー、アラスカのケチカン、ここで3カ月が終了。



後「東ちづるさん、川崎哲さん、マダム・ボンジュール・ジャンボさん三人による「ピースストーリー」で、ユーモアを交えながらの真剣で白熱したトーク。◆夕方「映画ひろしま」。「見たかったんだ」という方も。続く4

日◆午前「ドキュメンタリー映画・ガザ攻撃2014年」・昼過ぎ、人形劇団ブークによる「人形劇」と「ブークの歴史のお話」親子連れ60組ほどが参加。EV前のブーク人形にこどもたちは、さよならをしていました。◆午後は孫崎亨さんの講演「ガザ・ウクライナそして台湾」。

時間ギリギリまで真剣な質問や意見が交わされました。この催しは、新宿区、新宿区教育委員会、新宿区社会福祉協議会の後援、一般社団法人Get in Touchの協力を頂いています。

国賠書籍コーナーは『伊藤千代子の生涯』『治安維持法と現代』など好評でした。なお佐高信著『鶴彬』も好評で「二気に読んで感動、回覧している」との感想も寄せられています。

川柳

植竹団扇 選

総裁選八岐大蛇胴一つ

新宿区 阿部 俊雄

諦めず緑のタヌキ追撃を

調布市 稲邑 明也

代執行見透しもなく民意無視

豊島区 藤本 増美

女なら平和と言ってみる高石よ

荒川区 風間 秀子

月遊びより地球を冷やすクーラーを

中野区 中嶋 育雄

沖縄の辺野古ゴリ押し許せない

足立区 高橋 陽子

美らの海そこに届かぬクイを打つ

八王子 清水 邦治

漱石をやっと忘れたばかりです

団 扇

【読者のみなさんの投稿歓迎】